



埼玉県マスコット
「コバトン」

令和7年産（6年播種） 麦類の生育概況 vol.6



（令和7年5月8日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎ 気 象 概 況：4月の平均気温は高かった。降水量は定期的に降雨があり平年より多かった。日照時間は平年並であった。
- ◎ 生 育 状 況：出穂期はおおむね平年並であった。全体的に生育量が少なく、有効茎歩合の高い生育となっており、一部で倒伏が見られる。
- ◎ 今後取るべき技術対策
 - ・ 排 水 対 策：排水機能維持のため、明きょ・排水路の補修を行う。
 - ・ 雑 草 防 除：カラスノエンドウ、カラスムギ等、収穫物に種子が混入する恐れのある雑草は、抜取りを徹底する。
 - ・ 適切な収穫：赤かび病の発生が懸念されるため、適期収穫と速やかな乾燥に努める。また、著しい倒伏や赤かび病が多発した場合、健全ほ場と刈分けを徹底し、収穫物を混ぜない。

1 気象の概況

4月の平均気温は、第1半旬が平年より低かったほかは高く推移し、月平均では平年より1.4℃高かった。降水量は、第1半旬が平年よりかなり多く、第2、4半旬はかなり少なく、第3半旬は多く、第5、6半旬は平年並であり、月合計では平年比134%となった。日照時間は、第1半旬は少なく、第2、4、6半旬は多く、第3、5半旬は平年並であり、月合計では平年比101%となった。

2 生育の概況

（1）所内生育相

ア 小麦（「さとのそら」：11月25日播種）

4月25日調査時点の草丈は平年（暖冬で推移した令和2～5年播種の4年平均）比96%、主稈総葉数は平年並となったが、弱小茎の夭折が遅れ、茎数は平年比115%となった。出穂期は平年より6日遅い4月16日であった。出穂期以降高温に経過し、5月の気温は平年並または高い見込みとなる予報であるが、出穂が遅れたため、成熟期は平年（5月29日）並～やや遅れる見込みである。

イ 大麦（「ニューサチホゴールデン」：11月25日播種）

4月25日調査時点の草丈はおおむね前年並、主稈総葉数は前年より0.3枚少なかった。前年よりも弱小茎の夭折が遅く、茎数は前年比115%となった。

茎立期は前年より7日遅かったものの、4月の気温が高く経過したため、出穂期は2日遅れとなった。5月の気温は平年並または高い見込みとなる予報のため、成熟期はおおむね前年（5月17日）並と予想される。

（2）県内全般

2月までは降水量が少なかったことから穂数が少なく、有効茎歩合の高い生育となっているが、遅れ穂の発生は比較的少ない。

出穂期はおおむね平年並であったが、麦が急速に伸長する茎立期から出穂期にかけて、気温が高く降水量が多かったことから、各地で湿害による生育不良が見られる。また、雨や強風の影響で倒伏の発生が散見される。

病害では、茎数が少なく株元の通風性が良かったり、降雨の影響により夜温が低下した時期があったため、うどんこ病の発生や上位葉への進展が遅れている。また、晩霜による凍霜害の発生はほとんど見られなかったが、多雨傾向のため赤かび病の発生は引き続き懸念される。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

1か月予報（気象庁5月8日発表）では向こう1か月の平均気温は高い確率が70%、平年に比べて晴れの日が少なく降水量は多く、日照時間は少ない見込みである。また、3か月予報（同4月22日発表）では、6月の平均気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込みである。

（2）生育予測

出穂期はおおむね平年並であったが、5～6月の平均気温は高いと予報されていることから、成熟期は早まると見込まれる。特に、登熟後半に高温に遭遇すると急激に成熟が早まることがある。

4 今後取るべき技術対策

（1）排水対策

登熟期の高温や集中豪雨などは、麦類の根にダメージを与えて枯れ熟れを引き起こす要因となる。このため、再度、明きよのつまりの除去や排水路との連結の確認を行い、排水対策を徹底する。

（2）雑草種子の混入防止

カラスノエンドウやカラスムギはグレーダ等で選別できないため、発生している場合は、必ず収穫前に抜取りを行う。

（3）適切な収穫の徹底

昨年は赤かび病が多発したことから、地域の病原菌密度が高まっている。倒伏や刈り遅れて降雨にあたると赤かび病の進展を助長するため、天気予報に留意して適期収穫を徹底する。ただし、高温で成熟期が早まっても農薬の使用基

準で収穫前日数が長い薬剤を使用した場合は、散布後定められた日数を経過した後、に収穫を行う。

収穫前にほ場を注意深く観察し、赤かび病の発生が多いほ場や発生ほ場で倒伏が見られる場合は健全粒へ進展するリスクが高いため、被害を受けていない麦と刈分けを行う。

強風や降雨の影響により一部で倒伏が発生している。倒伏したほ場は収穫時期の判断が困難となるので、倒伏程度の軽い部分を優先して収穫し、刈り遅れや穂発芽粒の混入による品質低下を防ぐ。

(4) 適切な乾燥・調製作業

収穫後は高温多湿条件で長時間保管することなく、速やかに乾燥を行う。グレーダは麦種ごとに適切な網目を使用し、適正な流量を保って調製する。

(5) 機械類の整備

気象条件によって刈取適期が急に早まることがある。余裕を持った作業計画は農作業安全にもつながるので、コンバインや乾燥機等の清掃や点検を早めに行い、収穫作業に備える。

解析・考察に用いた具体的数字

1. 4月の気象表（熊谷气象台日別測定値から集計）

半旬	平均気温(℃)		最高気温(℃)		最低気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	9.2	11.5	13.4	17.4	4.7	6.2	60.5	15.9	21.9	33.5
2	14.8	12.5	21.3	18.4	9.4	7.1	0.0	17.4	41.7	33.3
3	14.6	13.4	19.9	19.5	10.9	8.2	47.0	16.3	28.2	32.4
4	18.2	14.4	25.7	20.4	11.2	9.3	0.0	14.2	41.1	31.2
5	18.2	15.3	23.2	21.3	14.0	10.1	6.5	13.5	23.7	31.6
6	16.9	16.2	23.3	22.3	10.8	10.9	7.5	13.5	42.7	33.2
平均	15.3	13.9	21.1	19.9	10.2	8.6	合計 121.5	90.7	199.3	197.1

注.半旬数値は熊谷地方气象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

平年値は 1991～2020 年の気象台値。

2. 生育状況

品種名	調査日	草丈(cm)		茎数(本/株)		葉位(L)		風乾重(g/100本)		風乾歩合(%)	
		本年	平年比 前年比	本年	平年比 前年比	本年	平年差 前年差	本年	平年比 前年比	本年	平年差 前年差
さとのそら	4月4日	57.2	92	9.8	160	10.5	0.0	331.9	94	16.4	-0.2
	4月15日	76.8	97	6.9	154	10.7	0.0	601.4	123	17.8	-1.9
	4月25日	88.9	96	4.8	115	10.7	0.0	760.3	110	21.5	-3.1
ニューサチホゴールドデン	4月4日	77.3	88	12.7	128	10.3	-0.3	536.8	77	14.7	-2.1
	4月15日	103.8	98	8.9	146	10.3	-0.3	805.2	99	18.2	-4.3
	4月25日	105.2	101	7.0	115	10.3	-0.3	1016.8	97	23.5	-3.6

注 1.さとのそらは平年値（暖冬であった令和 2～5 年播種の 4 か年平均）、ニューサチホゴールドデンは前年値との比較（以下同様）。

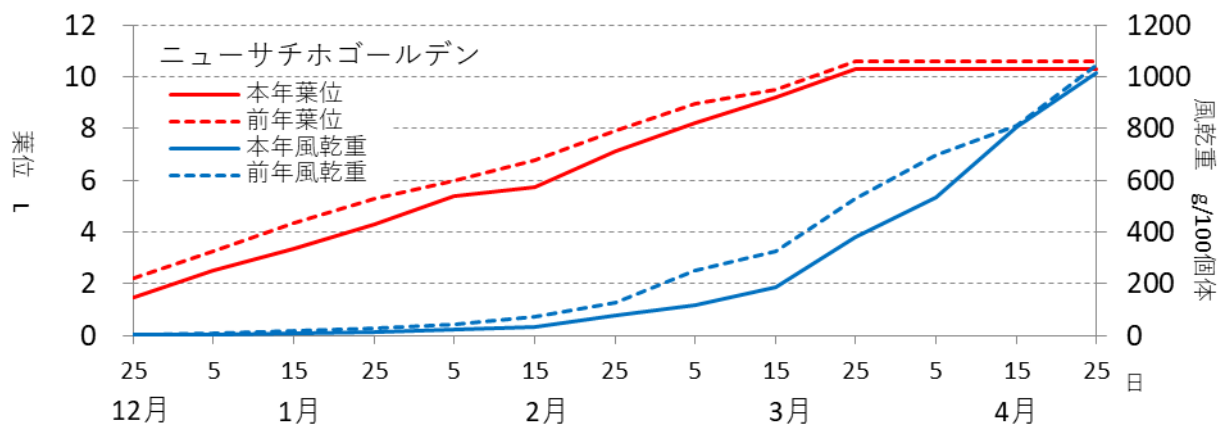
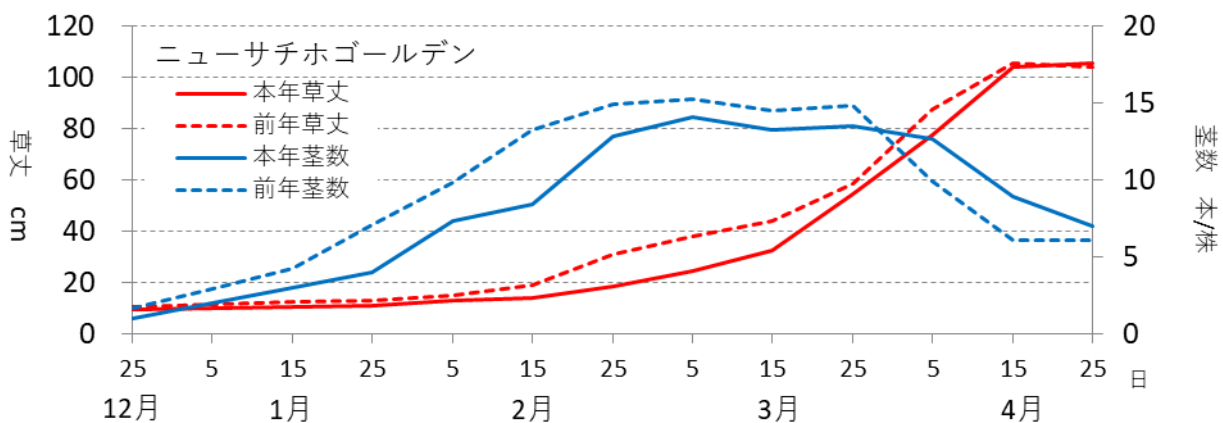
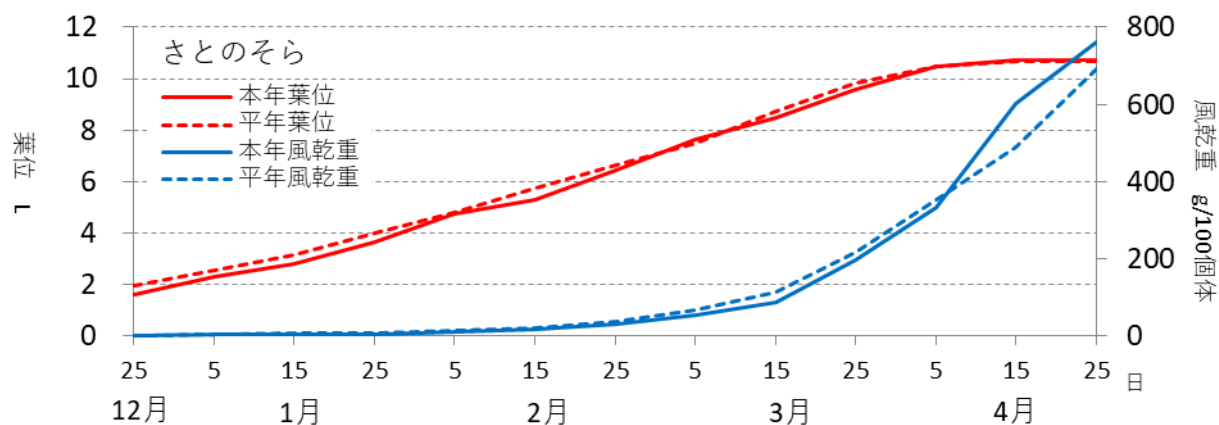
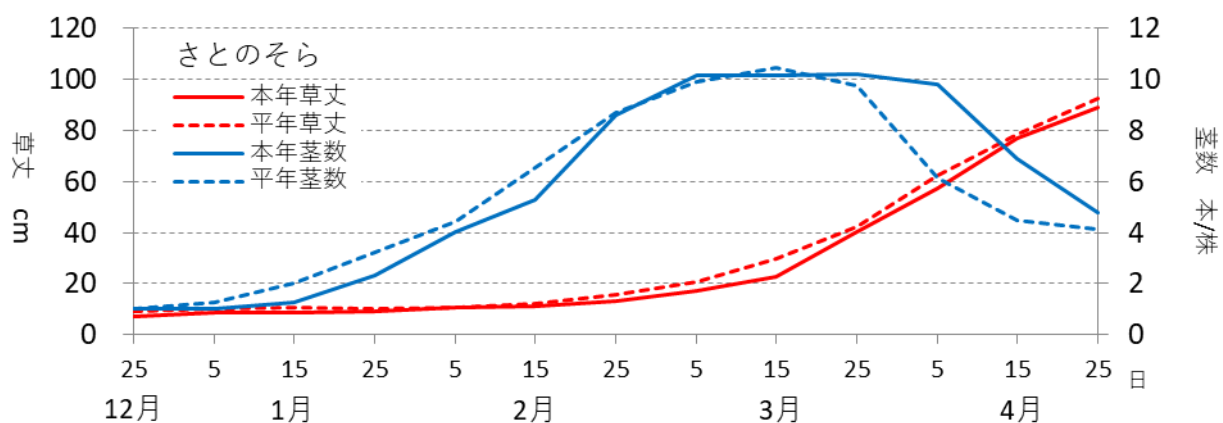
注 2.風乾重は 100 個体当たりグラム、風乾歩合は風乾重/生体重。

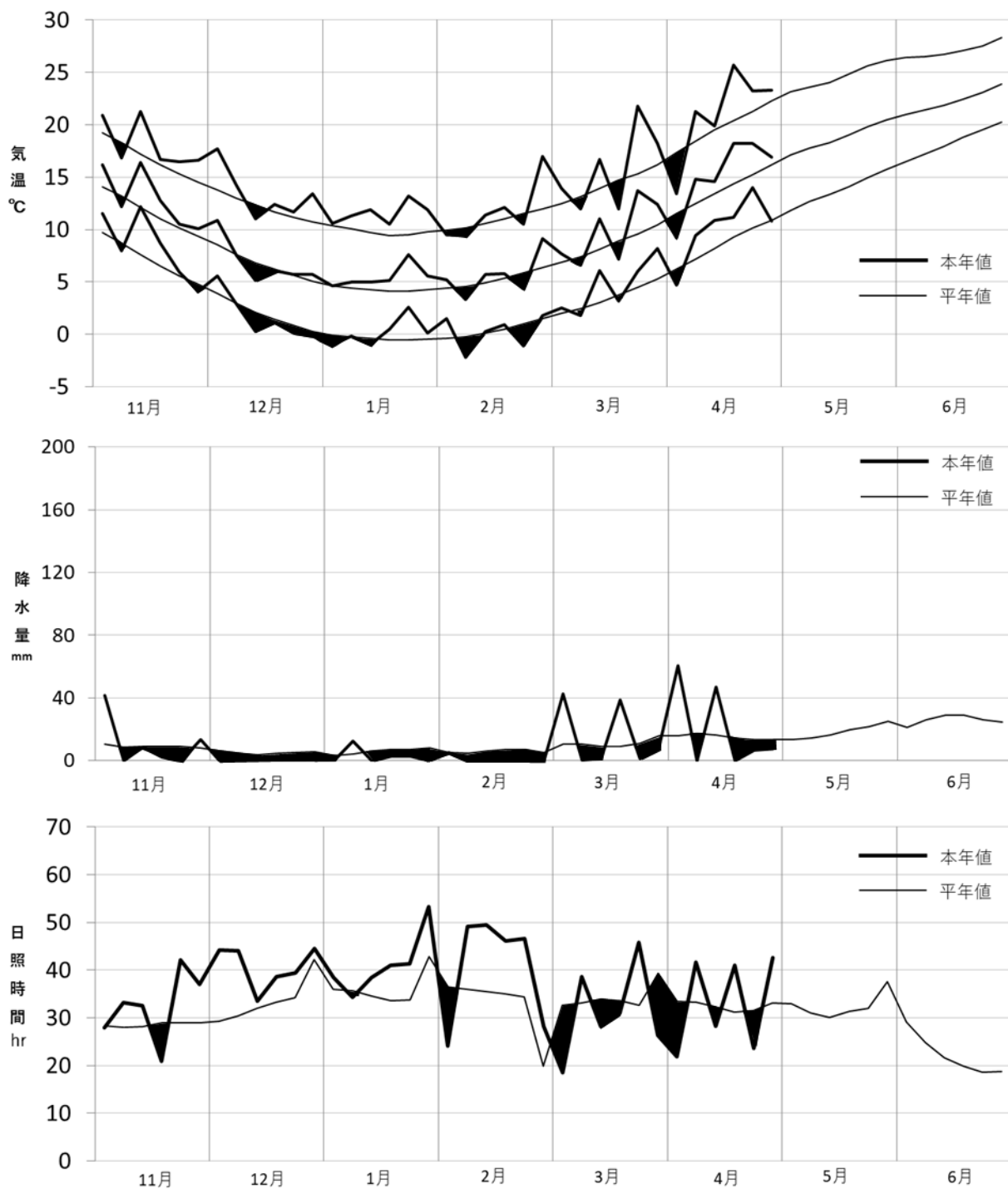
注 3.平年比、前年比は％（以下同様）。

3. 出穂

品種名	茎立期			出穂始			出穂期			穂揃期		
	本年	平年 前年	平年差 前年差	本年	平年 前年	平年差 前年差	本年	平年 前年	平年差 前年差	本年	平年 前年	平年差 前年差
さとのそら	3/18	3/14	4	4/14	4/8	6	4/16	4/10	6	4/18	4/13	5
ニューサチホゴールドデン	3/6	2/27	7	4/4	4/1	3	4/6	4/4	2	4/9	4/7	2

4. 生育経過（11月25日播種）





令和6年播（7年産）冬作期間気象図
（熊谷地方気象台日別データより作成）